

MESSERSCHMITT

Bf 109 G-4/R6

Erich Hartmann

メッサーシュミット Bf 109 G-4/R6
“エーリッヒ・ハルトマン”



■エーリッヒ・ハルトマン

ルフトバッフェのスーパーエクスパルテン、エーリッヒ・ハルトマンは352機という未だ破られぬ撃墜記録を持つ『世界最高の撃墜王』である。彼は1922年4月19日にシュトゥットガルト近郊であるヴァイザッハに医者の息子として生まれ、幼少期は中国湖南省の長沙で過ごした。母親の影響もありドイツに帰国後グライダーの免許を取得したことから彼の飛行経歴は始まる。ほどなく両親は、彼がナチスの教育施設に入隊せられるのを嫌い、また当時のドイツではまだ自由な教育が認められていたことによって全寮制の高等学校へ入学させた。

1940年春にエーリッヒは高等学校を卒業するが、大戦の戦果に沸き立つ中で彼は空軍に志願、戦闘機パイロットを目指すため同年3月15日に東プロイセンの空軍第10訓練連隊に入隊する。18歳のときである。自由な家庭環境で育てられた彼にとって訓練部隊における軍隊生活は決して楽しい物ではなかったと想像できるが、1年10ヶ月に及ぶ訓練期間を経て1942年3月31日に彼は少尉に任官する。6月30日に行われた飛行射撃訓練ではBf109に搭乗し、小さな吹流しに50発の機銃弾を発射して内24発を命中させるなど射撃センスの優秀さを見せた。

1942年8月に東部補充戦闘飛行隊を経た後、10月10日に東部戦線の第52戦闘航空団第3飛行隊第7中隊(7/JG52)に配属となった。部隊では最年少であり、古参のパイロットたちからブービ(坊や)というあだ名を頂戴することになる。

多くの新人がそうであるようにハルトマンも最初から優秀なパイロットではなかった。ロッテ(2機編隊)で彼と組むことになったのはペテランのロスマン曹長であった。3回目の出撃の時、ハルトマンは敵機を追いかけるのに夢中になるあまり僚機のロスマン曹長を見失ってしまう。その上、アシストにきたロスマンを敵機と誤認するなどのパニックに陥り、拳銃の果てに燃料不足となって胴体着陸するという失態を演じた。この結果3日間の飛行停止処分を受け地上勤務にまわされた。これはハルトマンにとってつらい措置であったようだ。

初撃墜は配属後1ヶ月あまり経った11月5日に記録する。相手は重装甲を誇るイリューションIL-2シュトルモビクだった。この日10機のLaGG-3戦闘機と18機のIL-2の来襲があり部隊はこれを迎撃。ハルトマンは敵戦闘機の間隙をついてIL-2を後上

方から攻撃するがBf109の20ミリ機銃弾は敵機主部の装甲に阻まれ有効弾とはならなかった。

そこで彼は再攻撃するため機体を急降下に入れ、今度は後下方から接近してIL-2の弱点であるオイルクーラーを狙い打った。これは効果があり、機体から噴出した黒煙はたちまち炎に変わり始めた。ハルトマンは追撃の手を緩めず、さらに接近すると火を噴いた敵機は突如として爆発した。このため破片を浴びた彼の機体はエンジンカバー内で火災が発生、ハルトマンは冷静に対処したため墜落という最悪の事態はまぬがれたものの、胴体着陸のため機体を再び失う羽目となつた。

2日後彼は黄熱病のため野戦病院に入院することになる。約1ヶ月の療養生活は疲労の重なった体にとって格好の休暇となつた。飛行の出来ない間にも空戦に関する研究は欠かさなかつただろう。

年が明けて1943年1月27日にはミグ戦闘機を撃墜。ハルトマンの空戦技術はこの頃から開花し始めた。4月末までに撃墜機数は11機に達していた。(この頃使用していた機体がG-4/R6である。)彼の空戦術の基本は多くのエースパイロットと同様、出来るだけ早く敵を発見して自機を敵機に気づかれないように接近することだった。このため不要なドッグファイトを極力回避して、機銃弾を敵機に確実に命中させることを重視した。確実な攻撃の機会が得られるまで待ちそれから高速を利用して一気に敵に接近、風防から敵がはみ出すぐらいまで近づいた後に射撃を開始する。近距離からの射撃は修正角も少なく何よりも機銃弾の貫徹威力が増大する。また、敵機の回避運動そのものも距離が近いゆえに無意味な物となる場合が多い。まさに典型的な一撃離脱戦闘法である。

1943年8月には撃墜数が50機に達し、第3飛行隊第9中隊長に任命される。彼の率いた中隊はカラヤ中隊と呼ばれ、一撃離脱戦法を用いた編隊空戦により戦果をあげていくことになる。

また、この中隊は戦果の多さもさることながら帰還率も高く、まさにエキスパート部隊として周囲からも認められていた。

ハルトマンはエースとしての優秀さも当然ながら、戦闘中に列機を失わなかったことも評価されるべきだろう。

(裏に続く)



エーリッヒ・ハルトマン少尉

(裏から続く)

やがてハルトマンはソ連側から『黒い悪魔』として恐れられ、その後終戦までBf109を使用し撃墜機数を増やし続けていた。

■ハルトマン乗機のその後

Bf109 G-4/R6 [WNR14997]はハルトマンの乗機として確認されている最初のものである。当時第52戦闘航空団第3飛行隊第7中隊はロシア戦線南部戦区のアゾフ海と黒海に挟まれたタマン基地に展開していた。ハルトマンは本機で15機の撃墜を果たしているが、15機目の敵機は1943年5月15日ポリカルポフU-2複葉機であった。

本機は5月28日カフカス地方のクバンの戦闘で行方不明になったが、この時の操縦者はハルトマンではなく、ヘルベルト・マイスター軍曹だった。実際はソ連空軍の第812戦闘機隊の数機によって不時着に追い込まれた後にソ連側に鹵獲された。ソ連側ではこの鹵獲機体を背景に将兵の受勲写真などを撮影しているが、煙火に包まれる同機の写真も残っている。

■Bf 109 G-4 諸元

全幅 :	9.924m
全長 :	9.020m
エンジン :	ダイムラーベンツDB 605 A
	離昇出力 1475ps/2800rpm
最大速度 :	630km/h (高度6600m)
武装 :	(機首上部) MG17 7.92mm機関銃×2 (プロペラ同軸) MG 151/20 20ミリ機関銃×1 (ガンパック) MG 151/20 20ミリ機関銃×2

■ハインツ・ザクゼンベルグ

1943年前半にハルトマン少尉が撃墜数を重ねつつあった同時期に、第52戦闘航空団に所属しスコアを重ねつつあったのが『ハインツ・ザクゼンベルグ』である。

ハルトマンと同じ1922年生まれ、1942年末に第52戦闘航空団第2飛行隊第6中隊に部隊最年少パイロットとして配属される。1943年4月に初撃墜をあげ、同年8月には34機撃墜を果たしている。心労過多により休養後、原隊復帰した後に1943年末に52機までスコアを重ねた。

ザクゼンベルグが搭乗したBf109G-4/R6のコクピット横に描かれたパーソナルマークは白と黒の『泥棒猫』が描かれ、愉快な個人的エピソードが多かったという彼の人柄が伺える。

終戦までに撃墜数104機の戦果を挙げ、うち84機が戦闘機だった。



ハインツ・ザクゼンベルグ曹長

作る前にお読みください

- この製品は組み立てモデルです。あらかじめ本説明書の全行程に目を通し、組立説明書の行程ごとにイラストを参考にして、部品の接着位置を事前に確認しながら組み立て作業を進めてください。
- 本製品には接着剤・塗料は付属しておりません。プラスチックモデル専用の接着剤と塗料を別途お買い求めください。
- 組み立てには模型用ニッパー、カッターナイフの他、ピンセット、ピンバイス(ドリル刃1.2mm)をご用意ください。小さなパーツの取り付けはピンセットを使い慎重に作業してください。
- 各部の塗装はGSクリエオス社製Mr.ホビーカラーの番号を□内の数字で、続けて色名を表示しています。水性ホビーカラーやタミヤカラーを使用する場合は、別紙のカラー対応表を参照ください。

This is an unassembled model kit. Read carefully and fully understand the instructions before commencing assembly. Check the glue position before gluing parts with the illustration.

Glue and paint are not included in kit.

Also need side cutters, modeling knife, tweezers, and pin vise with 1.2mm bits. Please use tweezers for the installation of small parts and glue it carefully.

Boxed numbers in illustration refer to "Mr. color" paint color numbers. Also check the color reference on the another sheet.

!

注

意

1. 本製品は玩具ではありません。対象年齢15歳以上の組み立てモデルです。作る前にこの組立説明書をよく読みください。
2. 部品を取り出した後のビニール袋は、子供が頭から被ったり飲み込むと窒息の恐れがあります。開封後は破り捨ててください。
3. 部品はきれいに切り取り、切り取った後の不要部分や切り取りクズは「プラスチックごみ」として、お住まいの地域のルールに従いゴミとして処分してください。
4. 尖っている部品があります。使用目的以外には絶対に使わないでください。小さいお子様の手の届く所に放置しないでください。
5. 特に小さいお子様のいる家庭では部品や部品切り取り後の不要部、ビニール袋等を誤って飲み込まない様に注意してください。小さなお子さまが側にいる。もしくは出入りする環境での作業や放置はおやめください。
6. 部品組み立ての際、ニッパー・ナイフ・ヤスリ等を不用意に取り扱うと刃先で怪我をする恐れがありますので注意してください。
7. 接着剤、塗料を使用する場合は、下記に注意してください。
 - 中薙の恐れがあるので閉めきった室内では使用しない。●火の恐れがあるので火の近くで使用しない。●接着剤・塗料は目や口に入れない。誤って入れたときはすぐに大量の水で洗い流し医師に相談すること。
8. 工具・接着剤・塗料等を使用する前には、それぞれの説明書に記載された注意事項をよく読み、正しく使用してください。

▲ CAUTION MAKE SURE TO READ INSTRUCTIONS LISTED RIGHT BEFORE ASSEMBLING.

THIS IS NOT A TOY! THIS KIT IS SUITABLE FOR AGE 10 TO ADULT. ADULT SUPERVISOR SHOULD ALSO READ INSTRUCTIONS WHEN ASSEMBLED BY CHILDREN AGED 14 OR YOUNGER.
1. THIS IS AN UNASSEMBLED KIT. READ THE INSTRUCTIONS BEFORE ASSEMBLING. 2. TEAR UP AND THROW AWAY THE PLASTIC BAGS CONTAINING KIT PARTS AS CHILDREN MAY SUFOCATE BY SWALLOWING OR WEARING OVER HEAD. 3. CUT THE PARTS OFF PROPERLY AND THROW WASTE PARTS INTO DUSTBOX AT ONCE. 4. DO NOT PLAY WITH THE PARTS FOR ANY OTHER PURPOSE, AS SOME PARTS MAY BE TOO SHARP. MORE CAUTION AND CARE NEEDED FOR FAMILIES WITH INFANTS. 5. KEEP ALL PARTS OUT OF REACH OF SMALL CHILDREN. CHILDREN MUST NOT BE ALLOWED TO PUT ANY PARTS IN THEIR MOUTHS, OR PULL PLASTIC BAGS OVER THEIR HEADS. 6. WHEN ASSEMBLING THE KIT, TOOLS INCLUDING KNIVES ARE USED. EXTRA CARE SHOULD BE TAKEN TO AVOID PERSONAL INJURY. 7. BE CAUTIONS AS FOLLOWS WHEN USING ADHESIVES AND/OR PAINTS: DO NOT USE IN CLOSED ROOM TO AVOID POISONING/TOXIC. DO NOT USE NEAR FIRE TO AVOID FLAMMABILITY. MISTAKENLY PUT INTO, WASH OUT PROMPTLY WITH FULL WATER AND CONSULT A DOCTOR. 8. READ AND FOLLOW THE INSTRUCTION SUPPLIED WITH TOOLING, GLUE & COLORS, IF USED.

接着します
Glue
Kleben.
Coller



穴を開けます
Make a hole
Loch bohren
Faire un trou



接着しません
Don't glue
Nicht kleben
Ne pas coller



切り取ります
Remove
Entfernen
Enlever

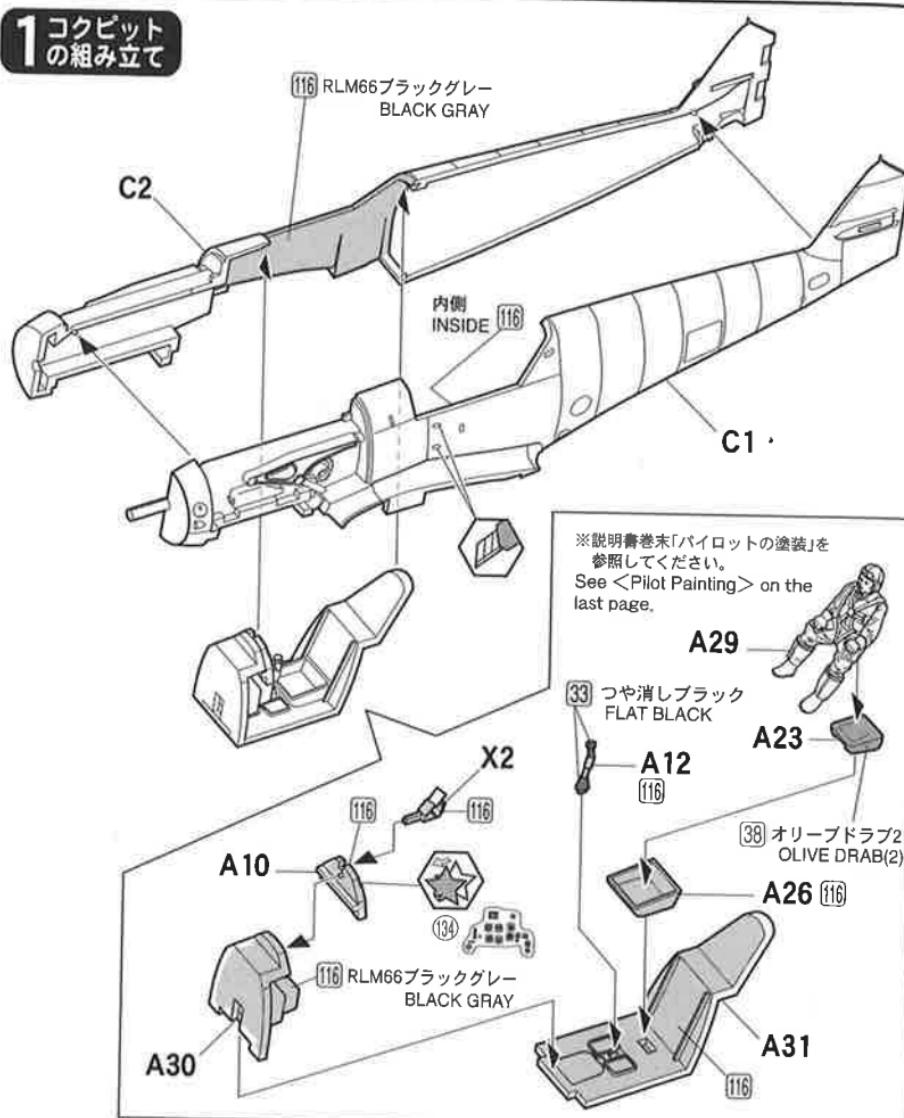


○数字で指示した水転写デカールを貼ります
Number of decal to soak and apply
Abziehbild in Wasser einweichen und anbringen
Mouiller et appliquer les décalcomanies



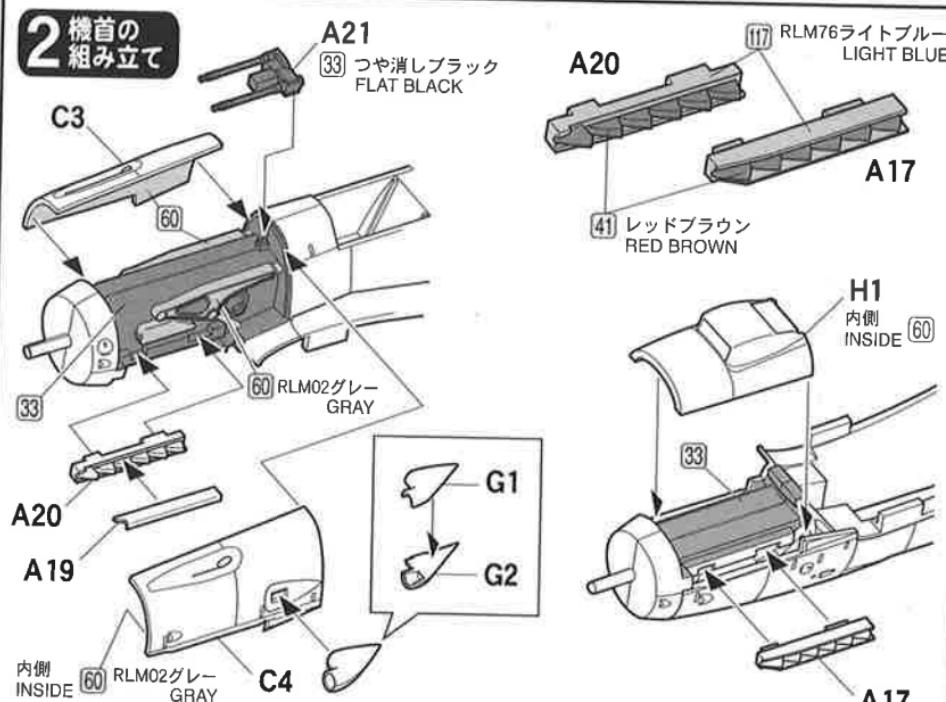
どちらか選びます
Optional
Wahlweise
Facultatif

1 コクピットの組み立て

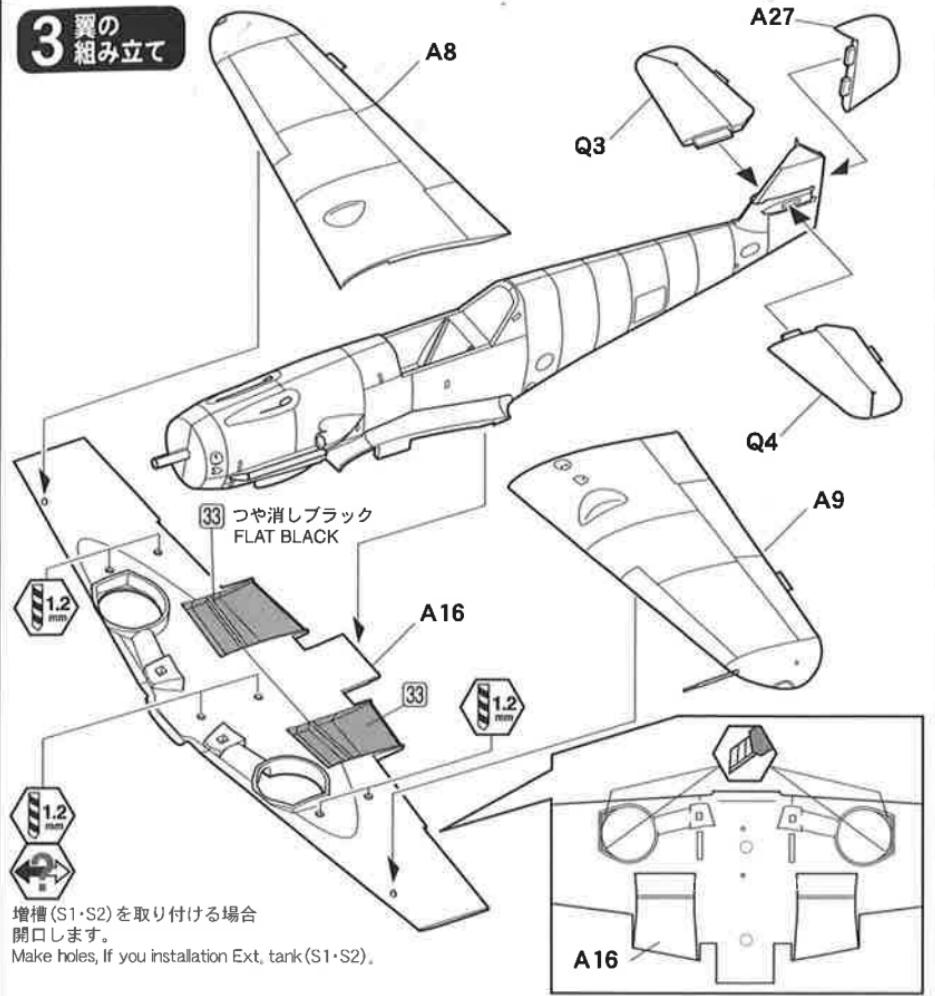


※説明書巻末「パイロットの塗装」を
参照してください。
See <Pilot Painting> on the
last page.

2 機首の組み立て

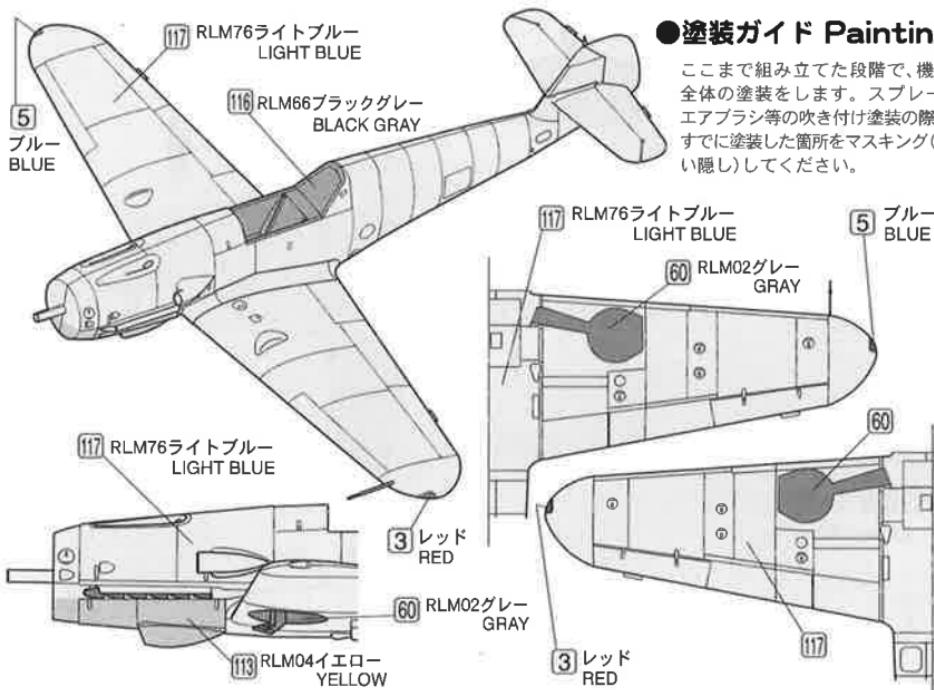


3 翼の組み立て

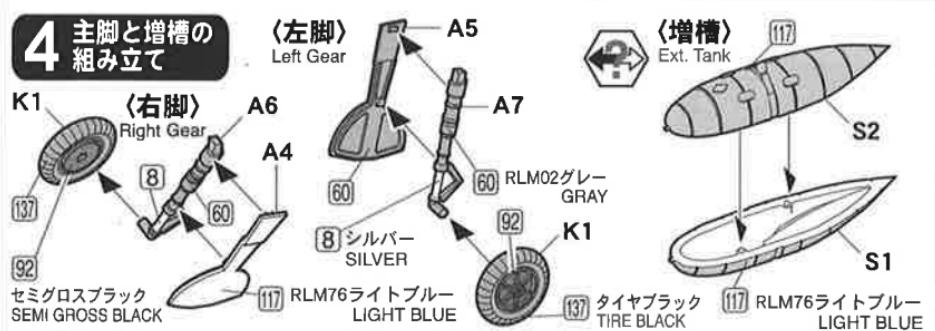


●塗装ガイド Painting

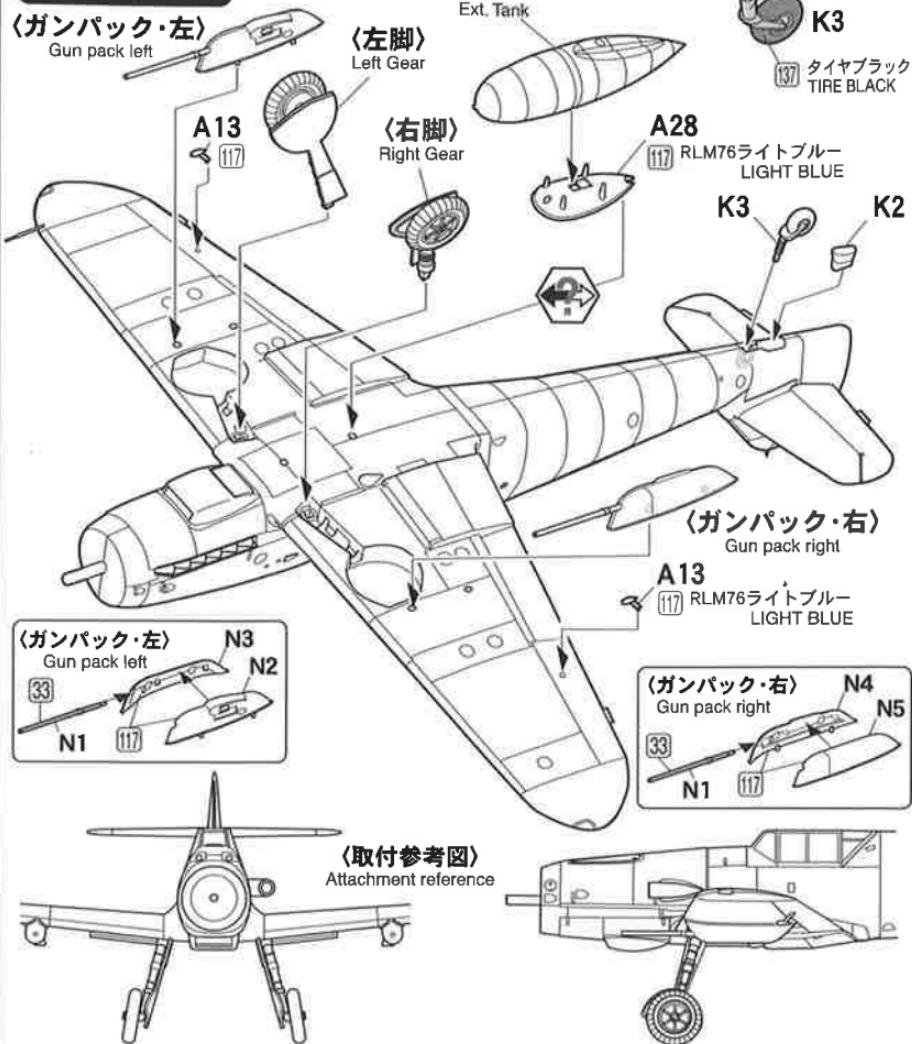
ここまで組み立てた段階で、機体全体の塗装をします。スプレー・エアブラシ等の吹き付け塗装の際は、すでに塗装した箇所をマスキング(覆い隠し)してください。



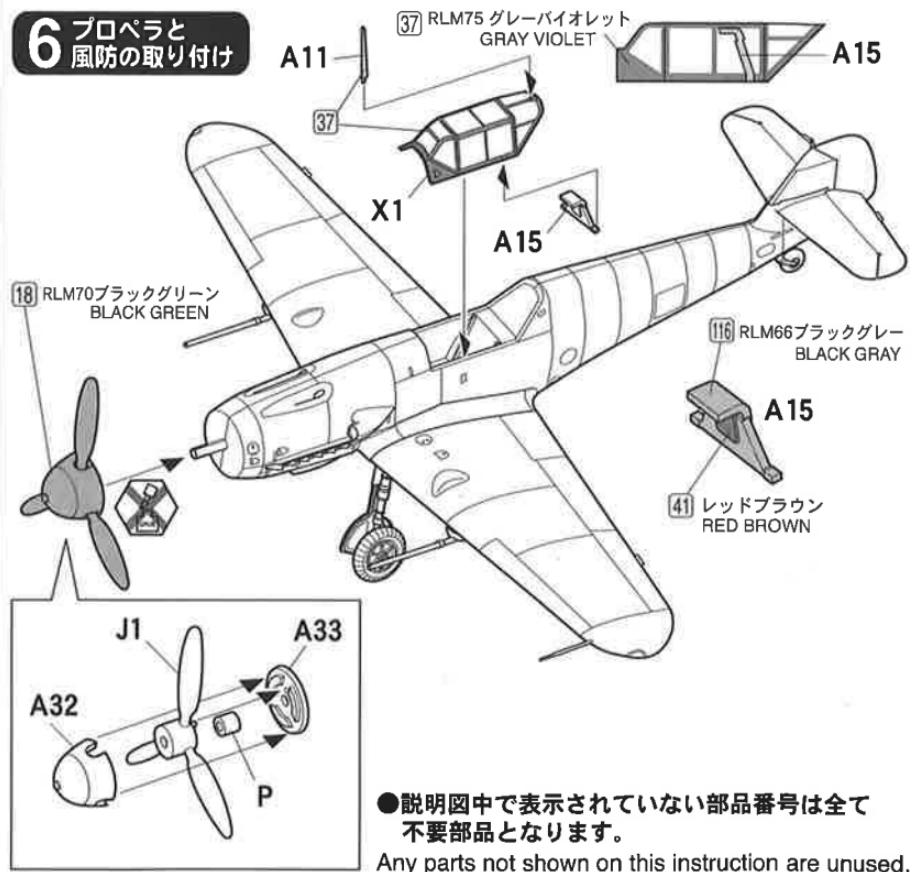
4 主脚と増槽の組み立て



5 下面各部品の取り付け



6 プロペラと風防の取り付け



塗装とマーキング

Painting & Marking

Bemalung und Markierungen

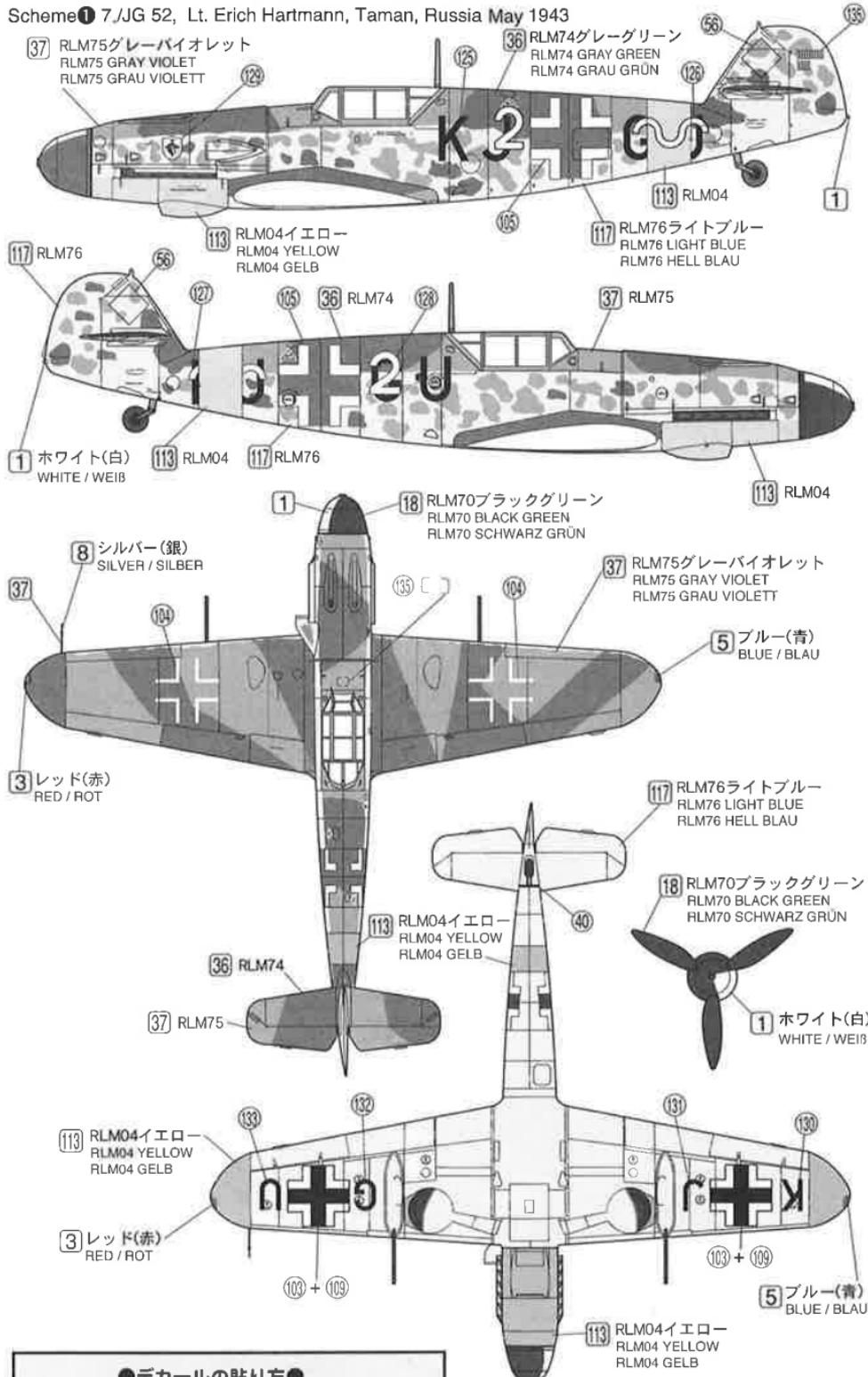
塗装例① 第52戦闘航空団第7中隊

エーリッヒ・ハルトマン少尉 1943年5月 タマン ロシア戦線

Scheme① 7/JG 52, Lt. Erich Hartmann, Taman, Russia May 1943

●各部の塗装はGSIクレオスMr.ホビーカラーの番号を□内の数字で、続けて色名を指示しています。○で囲まれた数字は付属デカール(水転写シール)の番号です。

Boxed numbers refer to GSI Creos "Mr. Color" paint color numbers.
Circle numbers refer to decal numbers.



●デカールの貼り方●

- 1回の作業ごとに必要なマークのみを台紙とともにハサミで切り抜きます。
- 切り出したマークを10秒から20秒程度ぬるま湯に浸してから引き上げます。
- モデルの貼りたい位置にマークを台紙ごと移動し、マークをすらしながらモデルに移します。
- 濡らした指などですらしながら正しい位置に動かします。
- 位置が決まったら柔らかい布や綿棒などを使用し、中心部から気泡と水分を押し出すようにマークを固定します。(力を入れすぎるとマーク全体が移動するので注意)
- 曲面や表面の彫刻部にマークを密着させたいときは、GSIクレオス社製Mr.マークソフターを使用し、綿棒などで慎重に作業してください。貼ったマークは乾いて固着するまで触れないようにします。
- (マークソフターの使用方法は製品の取扱説明を参照してください)

※説明書で表記の無いデカールは使用しません。
Decals not shown are unused.

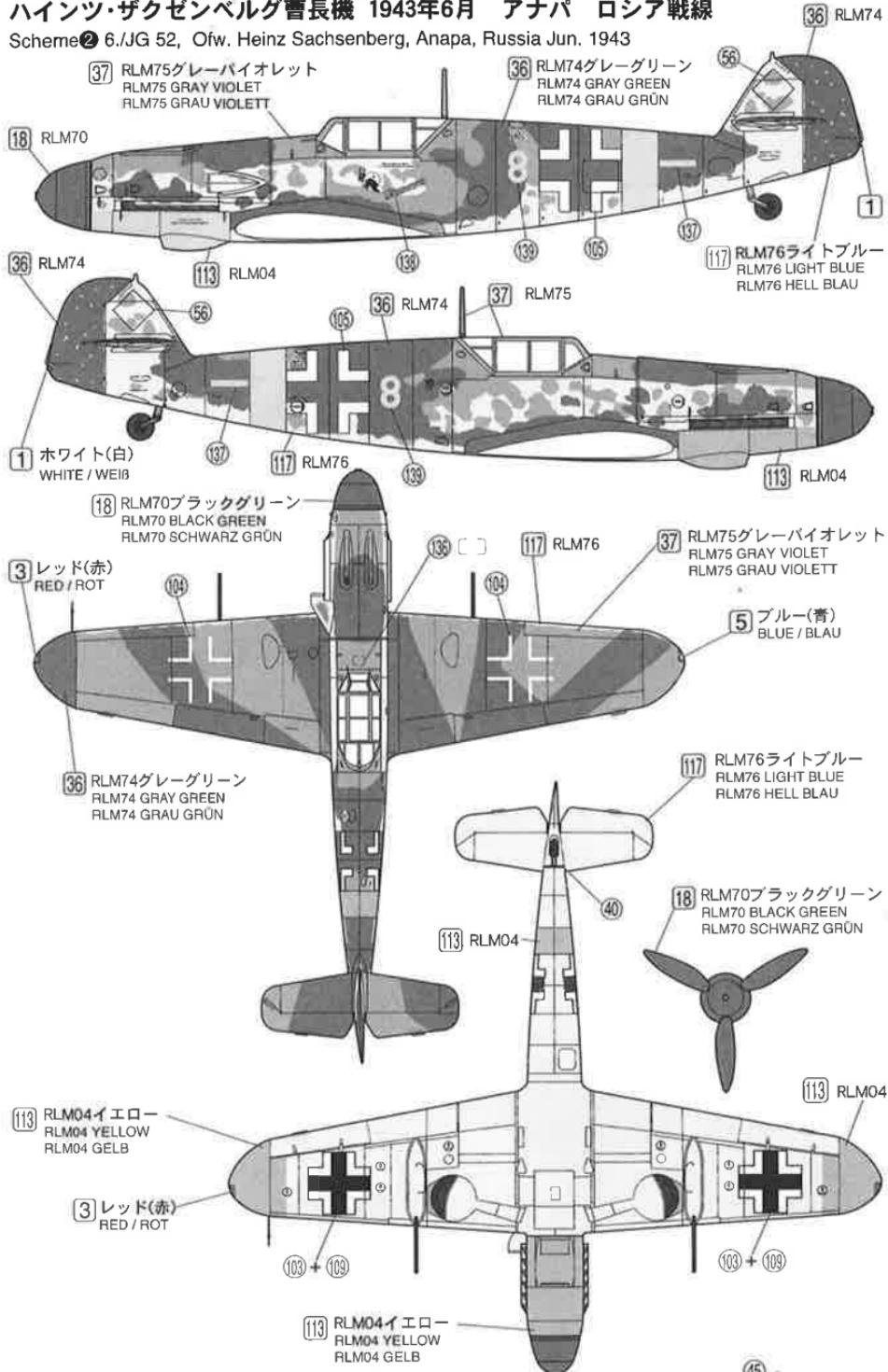
Decal Application

- Cut off each mark from the sheet.
- Dip the mark into lukewarm water for about 15 seconds.
- Place the mark in position, and slide it off the base paper and onto the model.
- Move decimal into position by wetting decimal with finger.
- To push out excess water and air bubbles under mark, press decal gently with the soft cloth or cotton sticks.
- Use a hot steaming towel or decal softener to mold decal over sculpted or nonflat surface.
- Do not touch the decal until it has become dry and firmly attached to model.

塗装例② 第52戦闘航空団第6中隊

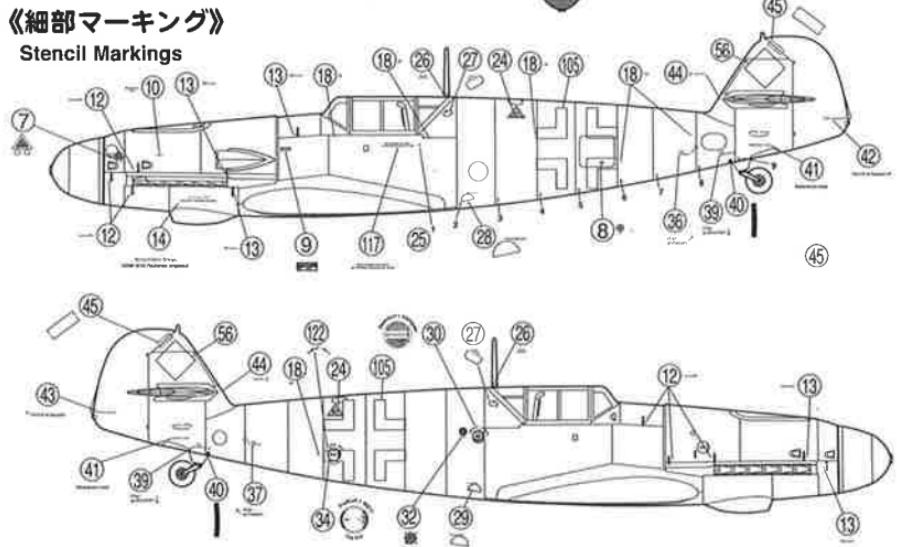
ハインツ・ザクゼンベルグ曹長機 1943年6月 アナパ ロシア戦線

Scheme ② 6./JG 52, Ofw. Heinz Sachsenberg, Anapa, Russia Jun. 1943

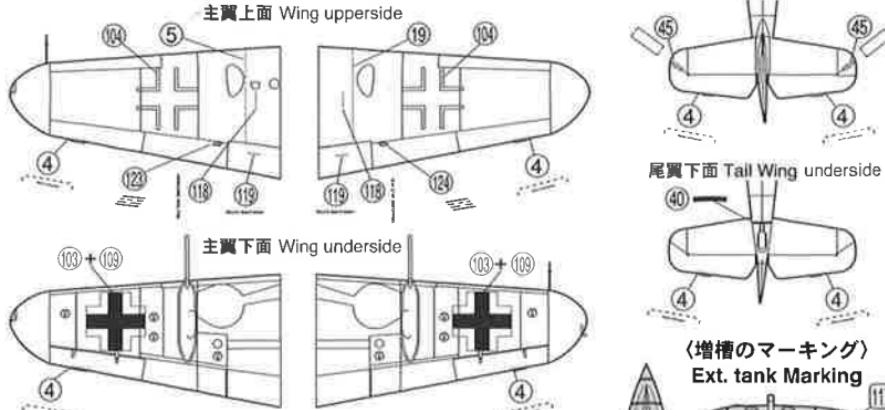


《箱部マーキング》

Stencil Markings



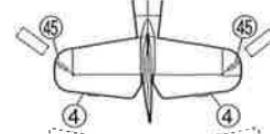
〈翼のマーキング〉 Wing Marking



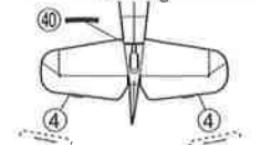
〈パイロットの塗装〉 Pilot Painting



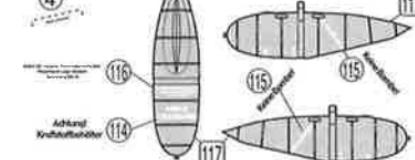
尾翼上面 Tail Wing upperside



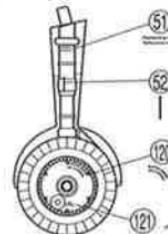
尾翼下面 Tail Wing underside



〈増槽のマーキング〉 Ext. tank Marking



〈脚柱のマーキング(左右共)〉 Gears Marking (Both side)



※近似色での表示です

カラーナンバー対応表

Color Correspondence Table

GSIクレオス・Mr.カラー(□数字)	GSIクレオス・水性カラー	タミヤカラー	ENGLISH	DEUTSCH
1 ホワイト(白)	H1 ホワイト(白)	X2 ホワイト	WHITE	WEIB
3 レッド(赤)	H3 レッド(赤)	X7 レッド	RED	ROT
5 ブルー(青)	H5 ブルー(紺)	X4 ブルー	BLUE	BLAU
8 シルバー(銀)	H8 シルバー(銀)	X11 クロームシルバー	SILVER	SILBER
18 RLM70ブラックグリーン	H65 RLMブラックグリーン70	XF27 ブラックグリーン	RLM70 BLACK GREEN	SCHWARZ GRÜN
30 フラットベース	H40 つや消し剤	X21 フラットベース	FLAT BASE	MATT GRUNDIERUNG
33 つや消しブラック	H12 つや消しブラック	XF1 フラットブラック	FLAT BLACK	MATT SCHWARZ
36 RLM74グレーグリーン	H68 RLMダーグレ-74	XF24+XF27	RLM74 GRAY GREEN	RLM74 GRAU GRÜN
37 RLM75グレイバイオレット	H69 RLMダーグレ-75	XF24+XF51	RLM75 GRAY VIOLET	RLM75 GRAU VIOLETT
38 オリーブドラブ(2)	H78 オリーブドラブ(2)	XF62 オリーブドラブ	OLIVE DRAB	OLIVE GRÜN
41 レッドブラウン	H47 レッドブラウン	XF64 レッドブラウン	RED BROWN	ROT BRAUN
45 セールカラー	H85 セールカラー	XF55 デッキタン	SAIL COLOR	SEGEL FARBE
51 肌色(フレッシュ)	H44 はだ色	XF15 フラットフレッシュ	FLESH	FLEISCHFARBE
60 RLM02グレー	H70 RLMグレ-02	XF22+XF49	RLM02 GRAY	RLM02 GRAU
72 ミディアムブルー	H42 ブルーグレー	XF50 フィールドブルー	INTERMEDIATE BLUE	MITTEL BLAU
92 セミグロスブラック		X18 セミグロスブラック	SEMI GLOSS BLACK	SCHWARZ HALBMATT
113 RLM04イエロー		XF3+XF15	RLM04 YELLOW	RLM04 GELB
116 RLM66ブラックグレー		XF1+XF63	RLM66 BLACK GRAY	RLM66 SCHWARZ GRAU
117 RLM76ライトブルー		XF2+XF23+XF66	RLM76 LIGHT BLUE	RLM76 HELL BLAU
137 タイヤブラック	H77 タイヤブラック	XF1 フラットブラック	TIRE BLACK	REIFEN SCHWARZ

●専用アクセサリーパーツ AA-43 1365円

Bf 109 アクセサリーセット2(エッチング、ピトー管)

●専用アクセサリーパーツ AA-47 1365円

Bf 109/R6ガンパック用20ミリ機銃銃身(焼き物銃身2本入)

破損・紛失による部品請求カード

紛失・破損などにより部品を請求される方は右のカードの必要部品を○で囲み、お名前、御住所、電話番号をはっきりと書き添えたメモといっしょに、記載の代金を現金書留または定額為替にて当社アフターサービス係までお申し込みください。なお、いずれのバージョンも本カード1枚につき1キット分に限らせていただきます。価格は消費税、送料込みとなっております。また価格は予告無く変更することがございますのでご了承ください。

FL13 Bf 109 G-4/R6 ハルトマン

A	¥800
C	¥700
G	¥300
H	¥300
J	¥300
K	¥300
N	¥300
Q	¥300
S	¥300
X	¥300
国籍マーク(2枚)	¥900
G-4/R6 マーク	¥400
ポリキャップ	¥150
説明図	¥400

Use Only in Japan

FineMolds®

(有)ファインモールド

〒441-3301

愛知県豊橋市老津町

字的場53-2

TEL:0532-23-6810

FAX:0532-23-6811

ホームページ

<http://www.finemolds.co.jp>

©2007 FineMolds MADE IN JAPAN